

事業概要

令和4年度

千葉市こころの健康センター

目 次

I 概要	1
1 沿革	2
2 業務の概要	2
3 組織	3
4 施設の位置及び平面図	3
5 歳出決算	4
II 業務実績	5
1 企画・立案	6
2 技術指導・技術援助	8
(1) 要保護児童対策及びDV防止地域協議会・実務者会議	8
(2) 各区保健福祉センター健康課に対する支援	8
(3) ひきこもり地域支援センター等に対する支援	8
(4) 千家連等のボランティア活動支援等で随時対応	8
(5) 千葉県精神科病院実施指導	8
(6) ひきこもり講演会	8
(7) SBIRTS 普及促進セミナー	8
(8) 市民後見人養成研修	8
3 教育研修	9
(1) 精神保健福祉業務新人者研修	9
(2) こころの電話相談員研修	9
(3) 講師派遣	9
4 普及啓発	10
(1) 精神保健福祉ボランティア講座	10
(2) 講演会	10
① 児童・思春期精神保健福祉講演会	10
② 地域精神保健福祉講演会	11
(3) 精神障害者家族のつどい	11
(4) 精神障害者の明るいくらし促進事業	12
(5) 地域精神保健福祉セミナー	13
(6) 精神障害者スポーツ大会	13
① 精神障害者ソフトバレーボール大会	13
② 精神障害者卓球大会	
(7) 心のふれあいフェスティバル	13
(8) 啓発パンフレット	13
案内パンフレット及び冊子の配布	13
5 調査研究	14
(1) 関係協議会等	14
(2) 図書の閲覧・貸出	14
① 蔵書数	14
② 貸出実績	14
6 精神保健福祉相談	15
(1) 精神保健福祉相談	15
① 相談件数	15

②本人の年齢・男女別分類件数	15
③相談者と本人の続柄別分類件数	15
④援助内容別件数	15
⑤所要時間別件数	15
⑥相談種類別件数	16
(2) こころの電話	17
①相談件数	17
②援助内容別件数	17
③所要時間別件数	17
④相談経路別件数	17
⑤各區別件数	17
⑥相談種別件数	18
7 組織育成	19
(1) 千葉市こころのボランティア・あおばへの活動支援	19
①千葉市こころのボランティア・あおばの活動経緯	19
②千葉市こころのボランティア・あおばの活動実績	19
③活動への支援	19
(2) 施設利用の援助	19
8 精神医療審査会の審査に関する事務	20
(1) 定期病状報告等の審査件数	20
(2) 退院等請求の審査件数	20
(3) 合議体別審査件数	20
9 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院医療）	21
(1) 精神障害者保健福祉手帳の判定結果	21
(2) 自立支援医療費（精神通院医療）の判定結果	21
10 うつ・自殺予防	22
(1) 対面型相談支援事業（うつ病集団認知行動療法）	22
(2) 人材育成事業	22
①ゲートキーパー養成研修	22
②子ども・若者メンタルヘルス研修	23
(3) 普及啓発	23
①うつ病対策講演会	23
②自殺予防対策リーフレット	23
(4) うつ病当事者の会	23
11 依存症対策	24
(1) アルコール・薬物関連精神保健福祉相談	24
(2) ギャンブル等依存症相談	24
(3) 依存症支援者教育研修	24
(4) 普及啓発	25
①依存症講演会	25
(5) 当事者や家族を対象としたもの	25
①アルコールミーティング	25
②依存症治療・回復プログラム	25

I 概 要

1 沿革

平成11年の「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」の改正により、都道府県及び政令指定都市は、平成14年度より「精神保健福祉センターを設置することができる」から「精神保健福祉センターを置くものとする」となった。

このため、本市では精神保健福祉センター開設の準備を進め、名称を「こころの健康センター」と定め、平成13年7月に開設した。また、平成21年10月より現施設での業務を開始した。

2 業務の概要

市民の心の健康の保持増進、心の健康に関する知識の普及、精神障害者の人権に配慮した、より良い精神医療の確保や社会復帰等の保健福祉の増進などを図るため、本市の精神保健福祉活動推進のための中核施設として次の業務を行う。

【企画・立案】

専門的立場から、精神保健福祉施策を推進するための企画・立案を行う。

【技術援助・技術指導】

地域で精神保健福祉活動を担っている保健所・保健福祉センター等の関係機関に対し、専門的立場から助言指導を行う。

【教育研修】

保健所・保健福祉センター、社会復帰施設その他の関係機関で精神保健福祉業務にたずさわっている職員に対して、専門的資質の向上のための研修を行う。

【普及・啓発】

心の健康に関する知識の普及と精神障害についての正しい理解のため、各種講演会・講座の開催、パンフレットの発行等を行う。

【調査研究】

精神保健福祉に関する資料の収集、統計及び調査を実施する。

【精神保健福祉相談】

専門医等により、予約制で相談を行う。

- ・不登校やひきこもり等の児童・思春期に起きる問題に関する相談
- ・アルコールや薬物等の依存に関する相談
- ・高齢期の精神的健康に関する相談
- ・ギャンブル等依存に関する相談

精神保健福祉士、精神保健福祉相談員等により、随時、精神保健福祉相談を行う。

専門員による傾聴専用の『こころの電話』を設ける。

【組織育成】

ボランティア組織、家族会、当事者の会、協力事業所その他精神保健福祉に関する団体等の活動を支援する。

【精神医療審査会の審査に関する事務】

精神医療審査会の開催事務及び審査遂行上必要な調査、その他当該審査会の審査に関する事務を行う。

【自立支援医療費公費負担及び精神障害者保健福祉手帳の判定】

自立支援医療費（精神通院医療）公費負担及び精神障害者保健福祉手帳の申請に対する判定業務を行う。

3 職種別職員構成

	医師	精神保健 福祉士	保健師	心理 判定員	福祉職	事務職	計
常勤	1	1	1	1	1	2	7
非常勤		1				2	3
計	1	2	1	1	1	4	10

4 施設の位置及び平面図

【所在地】

〒261-0003 千葉市美浜区高浜2-1-16

TEL 043(204)1582 FAX 043(204)1584

メールアドレス kokoronokenko.HWS@city.chiba.lg.jp

ホームページ <https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/kokoronokenko/>

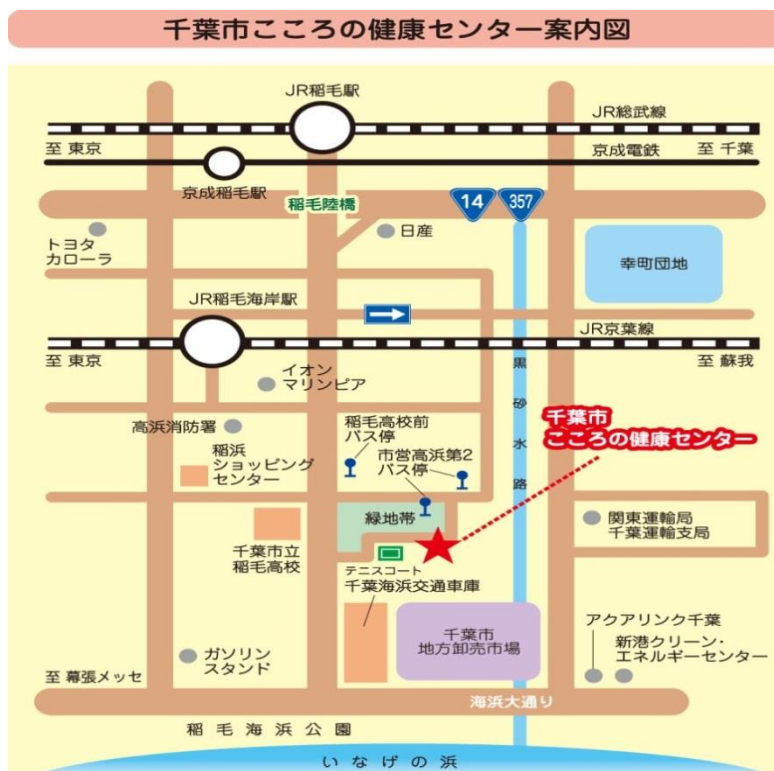
【利用交通機関】

○JR総武線稲毛駅西口より海浜交通バス利用

駅前3番のりば「JR稲毛海岸駅」行き（運輸支局入口経由）で「市営高浜第2」下車徒歩3分

○JR京葉線稲毛海岸駅南口より海浜交通バス利用

駅前3番のりば「JR稲毛駅」行き（運輸支局入口経由）で「市営高浜第2」下車徒歩3分



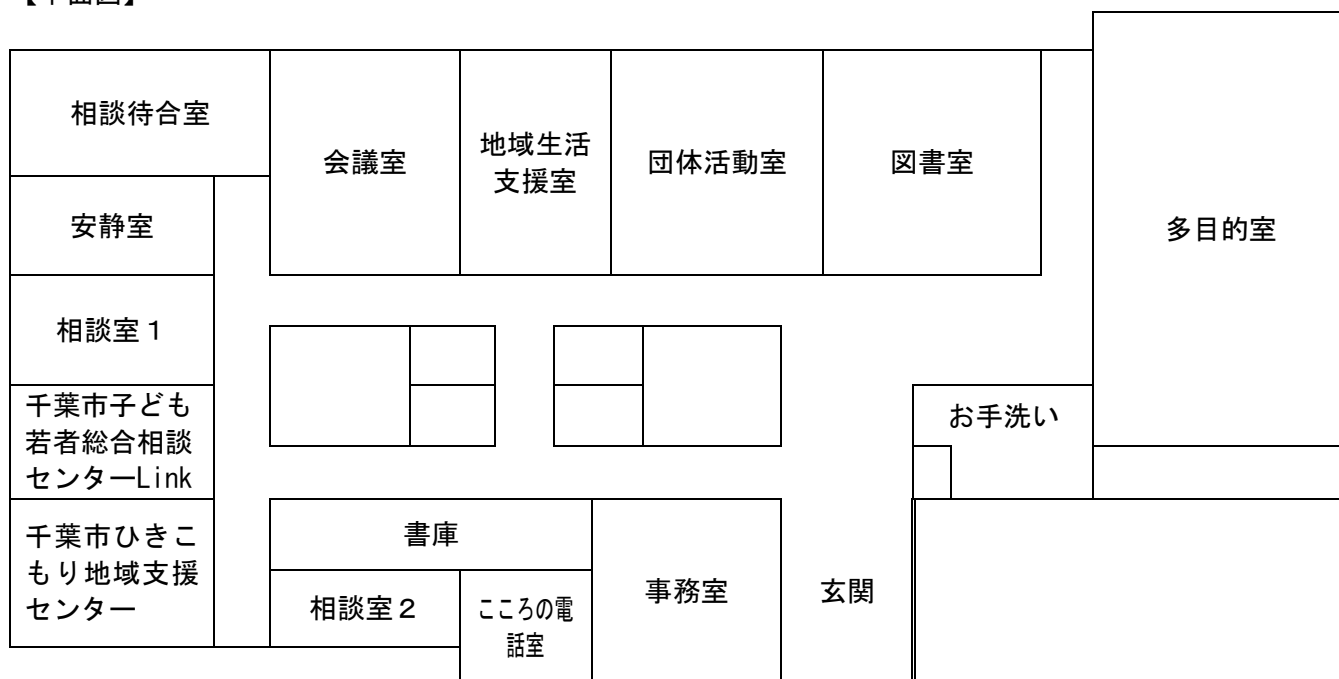
【施設規模】

鉄骨造平屋建

敷地面積：3500.01㎡

延床面積：998.30㎡

【平面図】



5 歳出決算

(単位：円)

科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
報 酬	7,404,000	7,691,400	8,283,600
共 済 費	12,748	12,614	11,723
報 償 費	913,000	1,037,000	1,355,000
旅 費	45,795	15,233	47,020
需 用 費	2,526,239	2,227,956	3,053,439
役 務 費	979,993	1,068,805	1,080,920
委 託 料	7,631,765	7,351,016	7,867,443
使用料及び賃借料	289,660	265,969	269,696
備品購入費	231,022	—	—
負担金、補助及び交付金	101,000	95,000	107,000
公 課 費	8,800	8,800	8,800
合 計	20,144,022	19,773,793	22,084,641

Ⅱ 業務実績

1 企画・立案

地域精神保健福祉を推進するため、精神保健福祉関連施策に関する会議に出席し、専門的立場から提案等を行った。

会議名称	実施主体
全国精神保健福祉センター長会・大都市部会	全国精神保健福祉センター長会
全国精神保健福祉センター長会定期総会	全国精神保健福祉センター長会
全国精神保健福祉センター研究協議会	全国精神保健福祉センター研究協議会
全国精神保健福祉センター長会議	全国精神保健福祉センター長会
関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会	関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会
全国精神医療審査会連絡協議会総会	全国精神医療審査会連絡協議会
全国精神医療審査会長・精神保健福祉センター所長会議	全国精神医療審査会連絡協議会
薬物依存症対策地域連携協議会	千葉県精神保健福祉センター 千葉保護観察所 千葉市こころの健康センター
千葉県依存症対策連携会議（ギャンブル等依存症）	千葉県精神保健福祉センター 千葉市こころの健康センター
千葉県依存症対策連携会議（アルコール健康障害）	千葉県精神保健福祉センター 千葉市こころの健康センター
薬物依存症対策地域連携協議会	千葉保護観察所
千葉県ギャンブル等依存症対策推進計画策定協議会	千葉県障害者福祉推進課
千葉県医療観察制度運営連絡協議会	千葉保護観察所
千葉県運営適正化委員会苦情解決部会	千葉県運営適正化委員会
精神科病院長精神保健指定医会議	千葉県障害者福祉推進課 千葉市精神保健福祉課

千葉県精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連携会議	千葉県精神保健福祉課
自殺対策相談窓口会議	千葉県精神保健福祉課
地域共生社会推進事業部生活自立支援班検討会議	千葉県保護課
千葉県社会福祉審議会	千葉県保健福祉総務課
千葉県地域自立支援協議会	千葉県障害福祉サービス課
千葉県健康づくり推進協議会地域・職域連携推進部会	千葉県健康支援課
千葉県子ども・若者支援協議会実務者会議	千葉県健全育成課
千葉県子ども・若者支援協議会代表者会議	千葉県健全育成課
千葉県障害者施策推進協議会	千葉県障害者自立支援課

2 技術指導・技術援助

地域で精神保健福祉活動を担っている保健所・保健福祉センターなどの関係機関に対し、専門的立場からの助言指導を行った。

(1) 要保護児童対策及びDV防止地域協議会・実務者会議

各区保健福祉センターの会場で、こども家庭課主催で実施された会議に、5回出席した。

(2) 各区保健福祉センター健康課に対する支援

各区保健福祉センター健康課の精神保健福祉業務担当者が、業務を円滑に行うことが出来るように、健康課主催の担当者会議及び主査会議等に6回出席した。

また、健康課や関係機関が実施する個別ケース検討会議等に5回出席した。

(3) ひきこもり地域支援センター、千葉市子ども・若者総合相談センターLinkに対する支援

相談スキルの向上・処遇方針決定のために、ケース会議に10回出席した。

(4) 千家連等のボランティア活動支援等で随時対応

精神障害者への個別支援や精神障害者を支援する関係機関職員に、スキルの向上を促すため技術指導・技術援助（助言）を18回実施した。

(5) 千葉県精神科病院実施指導

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第38条の6（報告徴収等）に基づき、千葉市精神科病院実地指導に8回同行した。

(6) ひきこもり講演会

千葉市中央区80・50を考える会（中央区地域活性化事業）が主催する「8050問題を考える～ひきこもりからの再スタート～」に出席し、「8050問題と医療」のテーマで講演を行った。

また、令和4年度山武圏域連絡調整会議包括支援部会が主催する「8050問題とひきこもり支援」に出席し、「精神医学からみた8050問題」のテーマで講演を行った。

(7) SBIRTS 普及促進セミナー

公益社団法人全日本断酒連盟が主催する「SBIRTS 普及啓発セミナー」に出席し、「千葉県の相談・治療拠点機関の役割と今後の展望」について講演を行った。

(8) 市民後見人養成研修

千葉市社会福祉協議会が実施する「市民後見人養成研修」に出席し、「精神障害の理解」について講演を行った。

3 教育研修

保健所・保健福祉センター、医療機関等の関係機関で精神保健福祉業務に携わっている職員に対して、研修を行うことにより資質の向上を図った。

(1) 精神保健福祉業務新任者研修

精神保健福祉の直接業務に携わる職員が、担当業務を安心して行えるように、必要な知識と技術の向上を図ることを目的とした研修を精神保健福祉課と各区健康課と合同で実施した。（書面開催）

年月日	テーマ	講師	参加者数
R4. 4. 21	精神保健福祉事業及び予算概要等	精神保健福祉課	9名
	こころの健康センター業務 ・ 審査会や判定会、講演会等	こころの健康センター	
	相談業務 ・ 相談対応や受療援助に係る基礎 ・ 6区健康課協力実施事業 ・ 心のふれあいフェスティバルや担当者会議、統計等	健康課 こころの健康センター	

(2) こころの電話相談員研修

こころの電話相談員を対象に、傾聴や支援のポイントについて学ぶことを目的とした研修を実施した。

年月日	テーマ	受講者	講師	参加者数
R4. 9. 9	こころの電話相談の対応について	こころの電話相談員	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	6名

(3) 講師派遣

他機関からの依頼に応じ、講義などを行った。

年月日	テーマ	受講者	講師	参加者数
R4. 5 月	精神障害の正しい理解	生活保護関係職員新任地区担当員研修	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	資料のみ配布

4 普及啓発

心の健康に関する知識の普及と精神障害についての正しい理解のため、市民を対象に各種講演会・講座を開催した。

(1) 精神保健福祉ボランティア講座

精神保健福祉に関する理解を深めるとともに、精神保健福祉ボランティアとして活動できる人材の育成を図るため、ボランティア講座をこころの健康センターにおいて開催した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
1回目 R4. 10. 31	精神科疾患の基礎知識	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	28名
2回目 R4. 11. 14	精神障害を持って地域で生きる人たちの姿を知る ～私たちにできること～	千葉県精神科医療センター 主任看護師 山本 一哉	28名
3回目 R4. 11. 28	災害時における精神障害を持つ人への関り	NPO 法人ヘルスマネジメントあ おぞら 管理者・看護師・SST 普及公開認 定講師 西條 可奈	28名
4回目 R4. 12. 9	ボランティアの心構えとボランティアセンターの役割 地域生活の実際とボランティアに望むこと 家族の立場からの思いとボランティアに望むこと ボランティア活動を通して思うこと	千葉県ボランティアセンター 社会復帰施設の利用者 特定非営利活動法人 千家連 千葉県こころのボランティア・ あおば	27名

計4回 参加者 実数28名 延べ人数111名

(2) 講演会

① 児童・思春期精神保健福祉講演会

子どもの心の問題への理解を深め、適切な対応と援助について考える機会とすることを目的とした講演会をこころの健康センターにおいて開催した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
R4. 12. 13	思春期の心によりそう ～発達障がい・子供のうつ・自傷・不登校～	同和会 木更津病院 児童思春期外来 医師 細田 豊	54名

② 地域精神保健福祉講演会

心の健康に関する知識と精神障害の正しい理解についての普及啓発を目的とした講演会を、こころの健康センターにおいて開催した。

年月日	テ ー マ	講 師	参加者数
R4. 7. 11	精神障害者の就労支援について	ハローワーク千葉 精神障害者雇用トータルサポーター 杉山 詔二	29名

*内訳：精神保健福祉実務研修4名、社会復帰施設等職員研修14名、市民11名

年月日	テ ー マ	講 師	参加者数
R4. 9. 12	ひきこもりの今	千葉県ひきこもり地域支援センター 所長 平田 智子	34名

*内訳：精神保健福祉実務研修5名、社会復帰施設等職員研修15名、市民14名

年月日	テ ー マ	講 師	参加者数
R4. 11. 7	基礎から学ぶ障害年金制度と事例	千葉障害年金相談センター 渡辺 洋介	39名

*内訳：精神保健福祉実務研修7名、社会復帰施設等職員研修14名、市民18名

年月日	テ ー マ	講 師	参加者数
R5. 1. 23	精神疾患の基礎知識	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	28名

*内訳：精神保健福祉実務研修2名、社会復帰施設等職員研修12名、市民14名

(3) 精神障害者家族のつどい

精神障害者の家族を対象に、家族 SST（社会技能訓練）や、精神疾患、就労、福祉制度等に関する講演会及び家族同士の情報交換及び相互交流を目的とした話し合いを、こころの健康センターにおいて実施した。

家族 SST（社会技能訓練）：偶数月

講演会と家族ミーティング：7月、1月

（9月、11月の家族ミーティングは、希望者がいなかったため中止）

年月日	テ ー マ	講 師	参加者数
R4. 4. 19	第1回家族 SST（社会技能訓練） 家族が元気になるために 目指すは「家族自身もリカバリー」	Office 夢風舎 フリースペース&ソーシャルワーカー 土屋 徹	9名
R4. 6. 20	第2回家族 SST（社会技能訓練） 家族が元気になるために 目指すは「家族自身もリカバリー」	Office 夢風舎 フリースペース&ソーシャルワーカー 土屋 徹	11名
R4. 7. 11	精神障害者の就労支援について	ハローワーク千葉 精神障害者雇用トータルサポーター 杉山 詔二	市民11名 家族ミーティング6名

R4. 8. 22	第3回家族 SST（社会技能訓練） 家族が元気になるために 目指すは「家族自身もリカバリー」	Office 夢風舎 フリースタッフ&ソーシャルワーカー 土屋 徹	14名
R4. 9. 12	ひきこもりの今	千葉県ひきこもり地域支援センター 所長 平田 智子	市民14名 家族ミーティング中止
R4. 10. 17	第4回家族 SST（社会技能訓練） 家族が元気になるために 目指すは「家族自身もリカバリー」	Office 夢風舎 フリースタッフ&ソーシャルワーカー 土屋 徹	9名
R4. 11. 7	基礎から学ぶ障害年金制度と事例	千葉障害年金相談センター 渡辺 洋介	市民18名 家族ミーティング中止
R4. 12. 19	第5回家族 SST（社会技能訓練） 家族が元気になるために 目指すは「家族自身もリカバリー」	Office 夢風舎 フリースタッフ&ソーシャルワーカー 土屋 徹	12名
R5. 1. 23	精神疾患の基礎知識	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	市民14名 家族ミーティング7名
R5. 2. 20	第6回家族 SST（社会技能訓練） 家族が元気になるために 目指すは「家族自身もリカバリー」	Office 夢風舎 フリースタッフ&ソーシャルワーカー 土屋 徹	15名

参加者合計：家族 SST（社会技能訓練）70名、講演会 57名 家族ミーティング13名

（4）精神障害者の明るいくらし促進事業

精神保健及び精神障害者福祉に関し、地域の実情に応じたきめ細やかな施策を実施することにより、精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図ることを目的とし、特定非営利活動法人千家連に委託し実施した。

年月日	事業名	会場	参加者数
R4. 9. 28	ディライトフル・フェスタ	千葉公園体育館	93名
R4. 11. 7	ふれあいボウリング大会	アサヒボウリングセンター	51名
R5. 2. 19	こころの健康教室	ハーモニープラザ	116名
R5. 3. 19	スプリングフェスティバル	ハーモニープラザ	106名

(5) 地域精神保健福祉セミナー

精神障害者、その家族及び地域住民との交流を図り精神保健福祉に関する正しい知識の普及を図ることを目的とし、特定非営利活動法人千家連に委託し実施した。

年月日	事業名	内容	参加者数
R4. 7. 15	音楽セミナー	みんなが元気になるために ～みんなで集う～	25名
R4. 10. 19	研修セミナー	施設見学 社会福祉法人 ウィズ	16名

(6) 精神障害者スポーツ大会

精神障害を有する選手が、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、市民の障害に対する理解を深め、精神障害者の社会参加の推進ならびに精神障害者のスポーツ振興に寄与することを目的に実施した。

①精神障害者ソフトバレーボール大会

一般社団法人千葉県障がい者スポーツ協会に委託し、実施した。
令和4年12月8日（木） 参加チーム：2チーム 参加者数：24名

②精神障害者卓球大会

一般社団法人千葉市身体障害者連合会に委託し、実施した。
令和4年5月8日（日） 参加者数：19名

(7) 心のふれあいフェスティバル

精神障害者に文化活動の場を提供し、障害者相互及び障害者と地域住民との交流を図ることを目的とし、特定非営利法人千葉県精神保健福祉協議会に委託し、実施した。

令和4年4月27日（水）実施 参加者数：245名

(8) パンフレット及び冊子の配布

こころの健康センター案内パンフレット及び心の健康に関する様々な種類の冊子を関係機関及び市民へ配布した。

5 調査研究

精神保健福祉に関する資料の収集、統計及び調査を実施し、関係協議会での意見交換を実施した。また、研究の一助として精神保健福祉に関する図書の閲覧・貸出を行った。

(1) 関係協議会等

関連団体名	活動内容
全国精神保健福祉センター長会	精神保健福祉センターの事業及び運営の向上に関することや連携に関して協議する。
全国精神保健福祉センター研究協議会	全国の精神保健福祉センターの研究の方向性について協議する。
全国精神保健福祉センター大都市部会	政令指定都市が抱える特有の諸課題について、協議、情報交換を行う。
関東信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会	関東信越地域の精神保健福祉センター相互の連携を深め、精神保健福祉に関する諸問題を多面的に討議し、各センター事業の充実に資する。

(2) 図書の閲覧・貸出

調査・研究の一助として、精神保健福祉に関する図書の閲覧・貸出及び、DVDの館内視聴を行った。

① 蔵書数

4, 047冊

② 貸出実績

\	令和2年度	令和3年度	令和4年度
冊数	183冊	200冊	267冊
実人数	28名	40名	47名
延人数	70名	82名	111名

6 精神保健福祉相談

(1) 精神保健福祉相談

嘱託医等による、アルコール・薬物関連精神保健福祉相談、思春期精神保健福祉相談、高齢者精神保健福祉相談、複雑困難事例への精神保健福祉相談を毎月、予約制で実施した。

また、上記相談に関わるインテークを職員が随時実施した。

① 相談件数

(単位:件)

実数	延数	延数内訳			
		電話	来所	医師	手紙・メール・FAX
1,991	2,257	2,093	71	79	14

② 本人の年齢・男女別分類件数

ア) 年齢別

(単位:件)

0～9 歳	10～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80歳 以上	不明	合計
20	248	191	168	202	134	88	51	43	1,112	2,257

イ) 男女別

(単位:件)

男	女	不明	合計
1,184	980	93	2,257

③ 相談者と本人の続柄別分類件数

(単位:件)

本人	家族	その他	合計
1,301	796	160	2,257

④ 援助内容別件数

(単位:件)

来所予約	他機関紹介	助言・回答・説明・傾聴	合計
254	942	1,061	2,257

⑤ 所要時間別件数(実数分)

(単位:件)

10分未満	10～29分	30～59分	60分以上	合計
1,391	683	179	4	2,257

⑥ 相談種別件数

相談種別	延べ件数
児童・思春期に関する相談	253
高齢期に関する相談	90
依存症に関する相談	41
アルコール依存症に関する相談	156
薬物に関する相談	87
ギャンブルに関する相談	158
ネット・ゲーム依存症に関する相談	28
社会復帰に関する相談	199
こころの健康づくりに関する相談	527
うつ病に関する相談	93
一般精神保健福祉相談	390
その他	235
合 計	2,257

相談種別の再掲

相談種別	延べ件数
ひきこもり	77
発達障害	91
自殺関連	143
(自殺遺族)	6
犯罪被害	16
災害被害	2
DV 相談	52

(2) こころの電話

こころの健康づくり推進事業の一環として、専門員による傾聴専用電話【こころの電話】
《専用電話番号：043-204-1583》を設置した。

① 相談件数

(単位：件)

	合 計
令和3年度（参考）	3,323
令和4年度	3,571

② 援助内容別件数（重複あり）

(単位：件)

助 言	傾 聴	他機関紹介	回答・説明	その他	合 計
14	3,425	163	4	24	3,630

③ 所要時間別件数

(単位：件)

10分未満	10～29分	30～59分	60分以上	合 計
855	1,881	812	23	3,571

④ 相談経路別件数

(単位：件)

保健所・保健福祉センター	13
行政機関	79
医療機関	57
市政だより	15
ポスター・ちらし	63
福祉関係機関	4
教育関係機関	16
市民便利帳	12
インターネット	313
既知	2,876
不明	74
その他	49
合 計	3,571

⑤ 各区域別件数

(単位：件)

中央区	732
花見川区	418
稲毛区	682
若葉区	254
緑区	454
美浜区	701
市内（区不詳）	193
市外	102
不明	35
合計	3,571

⑥ 相談種別件数

相談種別	延べ件数
児童・思春期に関する相談	3
高齢期に関する相談	0
アルコール依存症に関する相談	7
薬物に関する相談	0
ギャンブルに関する相談	0
社会復帰に関する相談	2,836
こころの健康づくりに関する相談	541
うつ病に関する相談	49
一般精神保健福祉相談	80
その他	55
合 計	3,571

7 組織育成

家族会、ボランティア組織、協力事業所、その他精神保健福祉に関する団体等の活動を支援した。

(1) 千葉県こころのボランティア・あおばへの活動支援

精神保健福祉ボランティアの育成と、あおばの活動支援を行った。

① 千葉県こころのボランティア・あおばの活動経緯

平成11年6月～7月に障害保健福祉課主催で開催した精神保健福祉ボランティア入門講座（全6回）の受講生の有志により発足したボランティア団体。

平成11年9月に「心のボランティアちば・千葉支部『あおば』」として事務局を保健所に置いた。こころの健康センター開設に伴い、平成13年7月から事務局をこころの健康センターに移した。平成18年度より「千葉県こころのボランティア・あおば」と名称変更し、活動している。

② 千葉県こころのボランティア・あおばの活動実績

定期活動	フリースペースの運営（原則第1、3木曜日）月2回 「あおばの風」発行年1回
イベント活動 開催・運営・手伝い	千葉県精神障害者卓球大会 千精協「心のふれあいフェスティバル」 千家連「ディライトフルフェスタ」 千家連「ふれあいボウリング大会」 千家連「スプリングフェスティバル」 千家連「音楽セミナー」 フリースペースあおば「クリスマス会」 千家連「こころの健康教室」 千家連「日帰り研修」
講師派遣	千葉県精神保健福祉ボランティア講座
会議・研修会等	定例会（毎月第4月曜日） 総会（年1回） 千葉県ボランティア連絡協議会 千家連定例会 あおば研修会

③ 活動への支援

定例会に12回、「フリースペースあおば」に21回参加し、助言等を行った。

定例会の参加延人数 120名

フリースペースあおばの参加延人数 526名（当事者197名・ボランティア329名）

(2) 施設利用の援助

精神保健福祉に関係する諸団体への援助として、各団体の要請に応じ、施設の貸し出しを行った。
延べ貸し出し回数 603回、延べ利用人数3,218名

8 精神医療審査会の審査に関する事務

精神医療審査会の開催事務及び審査遂行上必要な調査、その他当該審査会の審査に関する事務を行った。

全体会を1回、合議体審査を21回開催した。

(1) 定期病状報告等の審査件数

区分	審査結果	(単位:件)
措置入院患者定期病状報告書	20	
医療保護入院届	1,213	
医療保護入院患者定期病状報告書	404	
合計	1,637	
	入院等は適当	1,571
	他の入院形態への移行が適当	0
	入院継続不要	1
	審査中(次年度に繰り越し・保留)	65

(2) 退院等請求の審査件数

区分	請求件数	審査件数	審査結果			審査中
			入院継続又は 処遇適当	他の入院形態への 移行が適当	入院不要又は 処遇不適当	
退院請求	68	45	42	3	0	5
処遇改善請求	14	9	9	0	0	1
合計	82	54	51	3	0	6

(3) 合議体別審査件数

合議体	開催回数	報告書等 審査件数	審査件数内数			保留件数	保留割合	退院等の 請求審査 件数
			措置入院 者定期病 状報告書	医療保護 入院者の 入院届	医療保護 入院者 定期病状 報告書			
A合議体	7回	532	5	396	131	44	8.3%	12
B合議体	7回	570	7	458	105	78	13.7%	16
C合議体	7回	535	8	359	168	50	9.3%	26
合計	21回	1,637	20	1,213	404	172	10.5%	54

* 保留件数は、毎回の審査会で保留になった累積件数

9 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院医療）

精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費（精神通院医療）公費負担の判定会を20回開催した。

（1）精神障害者保健福祉手帳の判定結果

（単位：件）

1級	2級	3級	非該当	（返戻）	合計
822	3,359	1,648	38	（84）	5,867

（2）自立支援医療費（精神通院医療）の判定結果

（単位：件）

該当	非該当	（返戻）	合計
11,846	2	（116）	11,848

10 うつ・自殺予防

うつ・自殺予防の取り組みとして、認知行動療法、人材育成や講演会等を実施した。

(1) 対面型相談支援事業（うつ病集団認知行動療法）

在宅のうつ病患者を対象に、うつ病やうつ症状等の改善及び再発防止を支援し、社会復帰の促進を図ることを目的に、集団での認知行動療法を実施した。

こころの健康センターにおいて、千葉大学子どものこころの発達教育研究センター所属の公認心理師が実施した。

1クールを12回実施 期間9月～12月 4名参加 延べ46名

(2) 人材育成事業

① ゲートキーパー養成研修

悩んでいる人や自殺のサインを発している人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなげて見守るゲートキーパーを養成するため、研修会をこころの健康センターにおいて実施した。

年月日	テ ー マ	対 象	講 師	参加者数
R4. 8. 25	ゲートキーパー養成研修～子どもたちの心の声に気づき、聴き、つなぎ、見守る支援～	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等教職員	NPO 法人 志木市精神保健福祉をすすめる会 理事長 上田 将史	16名
R4. 9. 26	ゲートキーパー養成研修～大切な人の命を守ろう～	市民	船橋北病院 公認心理師・臨床心理士 増田 直子	11名
R4. 11. 4	事例検討会（ゲートキーパー指導者養成研修）	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等教職員	船橋北病院 公認心理師・臨床心理士 増田 直子	4名
R5. 2. 13	ゲートキーパー養成講座 あなたの気づきが命をつなぐ～誰もが安心して暮らせる千葉市を目指して～	庁内職員・関係機関職員	船橋北病院 公認心理師・臨床心理士 増田 直子	30名

計 4回 61名

② 子ども・若者メンタルヘルス研修

若者層への自殺対策として、千葉大学の学生を対象にゲートキーパー養成研修を実施した。

年月日	テ ー マ	対 象	講 師	参加者数
R4. 10. 26	こころのサポーター ゲートキーパー養成研修 ～メンタルヘルス・ファーストエイドによる支援～	千葉大学学生	NPO 法人 志木市精神保健福祉をすすめる会 理事長 上田 将史	56名

(3) 普及啓発

① うつ病対策講演会

よりよい生活を送ることができるようにうつ病の正しい知識と理解を深めるための普及啓発を目的として講演会を、こころの健康センターにおいて開催した。

年月日	テ ー マ	講 師	参加者数
R4. 11. 29	こころの健康のために認知行動療法を活用しよう	千葉大学医学部附属病院認知行動療法センター センター長 千葉大学大学院医学研究院 認知行動生理学 教授 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター センター長 清水 栄司	50名

② 自殺予防リーフレット

リーフレット「こんなときゲートキーパーが必要です！」をゲートキーパー養成研修等で配布した。

(4) うつ病当事者の会

参加者同士が支えあい、回復につながることを目指す自助グループ。職員がファシリテーターとなり、自己理解と自己表現を目的としたグループワークを実施した。

年3回実施 延べ参加人数15名

1 1 依存症対策

(1) アルコール・薬物関連精神保健福祉相談

精神科医師によるアルコール・薬物関連の相談を全9回実施した。
相談者延べ人数10名

精神保健福祉士、公認心理士等による相談を随時実施した。
相談者延べ人数152名（再掲）

(2) ギャンブル等依存症相談

司法書士、精神保健福祉士によるギャンブル等の依存症の相談を全12回実施した。
相談者延べ人数30名

精神保健福祉士、公認心理士等による相談を随時実施した。
相談者延べ人数158名（再掲）

(3) 依存症支援者教育研修

依存症当事者・家族への直接支援に携わる庁内職員及び関係機関の職員を対象に、当事者や家族に対する具体的な言葉かけや態度、対応方法の習得を目的とした研修を実施した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
R4. 9. 29	講義「性依存～性的逸脱行動に対する支援について～」	池袋榎本クリニック 臨床心理士 森田 大樹	25名
R4. 12. 12	講義「アルコール依存～つながる支援のために～」 当事者の体験談	船橋北病院 精神保健福祉士 工藤 智子 千葉ダルク	26名

計2回 参加者51名

(4) 普及啓発

① 依存症講演会

依存症に対する正しい知識、相談や治療の道筋に対する知識の普及を図るため、講演会を開催した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
R4. 11. 24	講演「ギャンブル依存症を知ろう」 エイサー演舞	認定 NPO 法人ワンダーポート理事 長 司法書士 稲村 厚 千葉ダルク	26名

(5) 当事者や家族を対象としたもの

① アルコールミーティング

第1部 当事者・家族「分かち合いの時間」

第2部 家族：学習会 講師：船橋北病院精神保健福祉士

本人：座談会 ファシリテーター：千葉県断酒連合会会長

年間12回実施 延べ参加者数131名

② 依存症治療・回復プログラム

薬物・アルコール依存や乱用からの回復を希望する当事者を対象に、「SMARPP」を用いたプログラムを実施した。

年間18回 延べ参加者数126名

事業概要
令和4年度

千葉県こころの健康センター

〒261-0003

千葉県美浜区高浜2-1-16

TEL 043(204)1582

FAX 043(204)1584

e-mail kokoronokenko.HWS@city.chiba.lg.jp